



2月新着図書案内



中旬版
富山中部高校図書館



非国民な女たち
戦時下のパーマとモンペ
飯田 未希 著

「贅沢は敵」と非難されたパーマネントは戦中も大流行。店には大行列、防空壕にもパーマ機が持ち込まれた。モンペは報国の象徴としてもはやされつつ、当時から「不格好」「若い女性には無理」と公然と言われていた。統制と近代化の狭間で社会問題となりながら髪形や服装にこだわった女性たちとその背景に迫る。



世界のひきこもり
地下茎コスモポリタニズムの出現
ぼそっと池井多 著

各国の地中に広がる“ひきこもり”の豊穡な世界によるこそ！ ひきこもり歴35年、「世界ひきこもり機構」(GHO)を創設した50代の著者がインターネットで海外のひきこもりやその支援者と対話。そこから見えてきたひきこもりの真実とは――。



「色のふしぎ」と不思議な社会
2020年代の「色覚」原論
川端裕人

「色のふしぎ」と不思議な社会
2020年代の「色覚」原論
川端 裕人 編

こじれてしまった色覚問題。「正常／異常」に線引きする色覚検査が復活したのはなぜ？ 先天色覚異常の当事者である科学作家が、専門家と目される眼科医、色覚にかかわる研究者などを取材し、先端科学の色覚観に迫る。



どんじり医
松永 正訓 著

神童と言われた兄ではなく、文学少年だったぼくが、医師を目指す。才能がない分、必死で学んだ。はじめての解剖では人の多様性を身をもって知り、入念な予習で挑んだはじめての手術は、予習のようにわかりやすいものではなかった。若い小児科医の成長を心あたたまるユーモアとヒューマニズムで書くエッセイ。



(読んだふりしたけど)ぶっちゃけよく分かんない、あの名作小説を面白く読む方法
三宅 香帆 著

あらすじを先に読んでおく、文章を楽しむ、多重人格になってみる、違和感から読んでいく……。古今東西のさまざまな名作小説を取り上げて、面白く読む方法を伝授する。小説の読み方基礎講座も収録。

図書館からのお知らせ

本屋大賞2021年
ノミネート10作品

全作揃ってます！
読みたい人は図書館まで
(予約できます)